

令和4年度「生徒・保護者意識調査アンケート」集計結果

専修学校クラーク高等学院大阪梅田校

1 はじめに

学校自己評価を行う上で、生徒や保護者を対象とする評価を通じて、学校運営や教育内容等に対して生徒・保護者がどのような意見や要望を持っているかを把握し、今後の取組や自己評価に活用することが重要である。

このため、本校では、在籍する全生徒及び保護者を対象に、本校の教育に対する満足度を調査するための「意識調査アンケート」を Web アンケートツール「Forms」により実施している。

なお、アンケートの実施に当たっては、匿名性の担保に配慮する観点から無記名方式としている。

2 調査及び集計結果

生徒及び保護者に対し、以下の(1)～(11)の項目について、【1：とても満足している 2：やや満足している 3：あまり満足していない 4：全く満足していない】の四者択一方式で満足度調査を実施した。

令和4年度「生徒・保護者意識調査アンケート」集計結果

分野	項目	生徒	保護者
学校運営	(1)学力とペースに合った学習体制	67%	70%
	(2)進路指導・進路学習の充実	71%	69%
	(3)学校内での活動の充実	63%	62%
	(4)学校行事・イベントの充実	59%	60%
教育内容	(5)キャリア学習・探究学習の充実	66%	64%
	(6)多くの資格を取得することが可能	68%	63%
	(7)専門性を身に付けることができる	77%	78%
生徒支援	(8)友人や仲間との関わりがある	75%	72%
	(9)学校や先生からのサポート体制がある	71%	78%
	(10)先生に安心して相談ができる	70%	79%
	(11)課外活動が充実している	60%	58%

3 考察

(1) 生徒意識調査アンケート

- ・多くの項目において前年度アンケートと概ね同等の満足度である。
- ・「学校行事・イベントの充実」や「課外活動の充実」の項目は、令和4年度も新型コロナウイルス感染症により中止したり、規模を縮小して実施した行事が多かったため、他の項目に比較すると満足度は低くなっている。

(2) 保護者意識調査アンケート

- ・多くの項目において前年度アンケートと概ね同等の満足度である。
- ・「学校行事・イベントの充実」や「課外活動の充実」の項目は、生徒と同様の理由で満足度は低くなっている。

(3) 全体を通して

- ・令和4年度については、令和3年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を反映した結果になっているものの、ICT・オンライン環境等の整備が進み、コロナ禍の状況ではあっても、授業に対する不安は軽減できてきていると思われる。
- ・令和5年度は、コロナ禍のために、実施に際して様々な制約を受けてきた校内外の活動について、保護者や外部関係者の参観等も含めて、感染症対策を十分行った上で再開させたい。

また、令和4年度に引き続き ICT 等を活用した教育活動の充実を図るとともに、本校が以前から注力している企業との連携や非認知能力の育成を目指した探究学習の推進、国際教育の更なる充実を目指した英語授業の推進及びコース教育の更なる充実に向けた教育環境の整備に努めていきたい。